

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

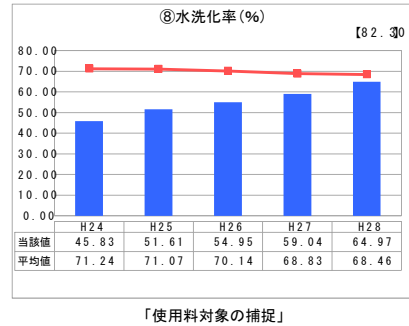
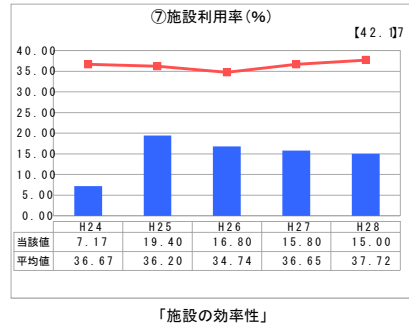
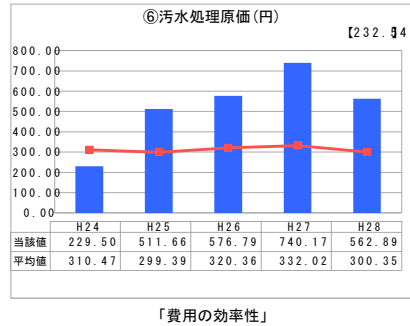
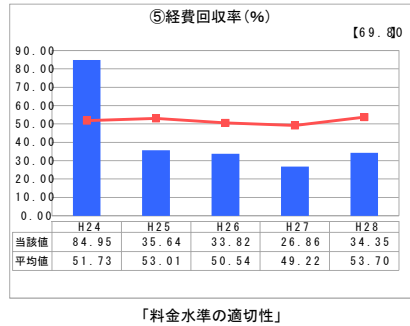
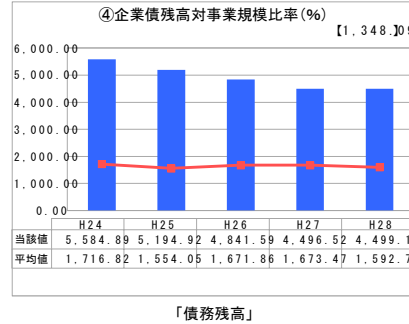
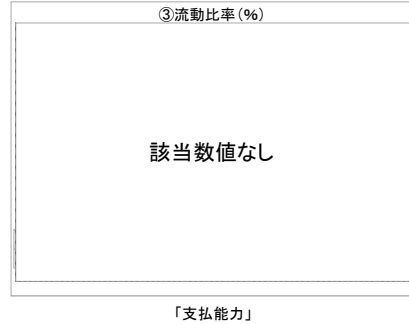
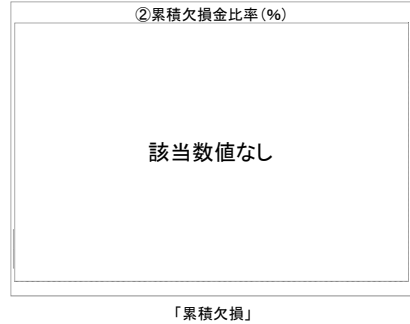
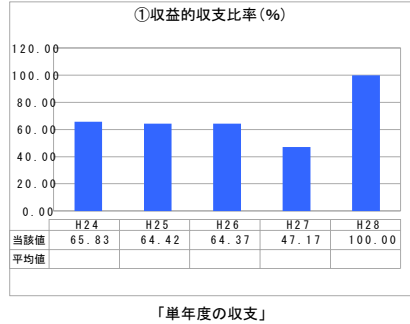
岩手県 田野畑村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.21	96.45	3,560

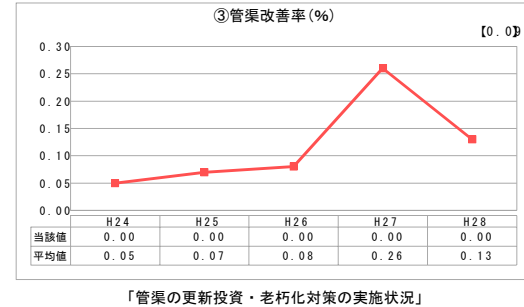
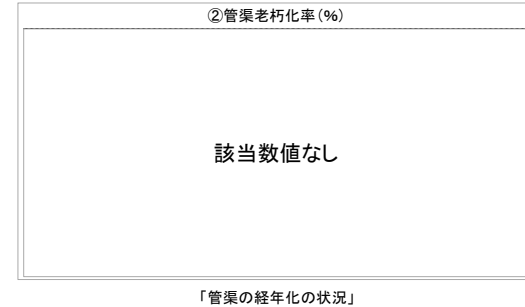
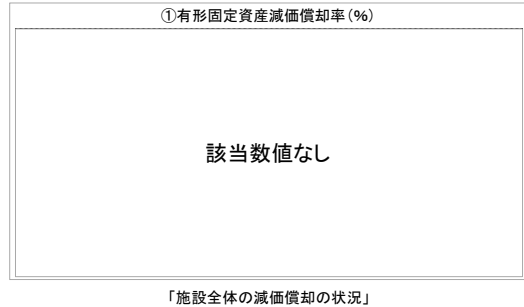
人口(人)	面積(k㎡)	人口密度(人/k㎡)
3,590	156.19	22.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(k㎡)	処理区域内人口密度(人/k㎡)
471	0.32	1,471.88

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について  
比率の低迷要因として、地方債償還金が多くを占めており、一般会計からの繰入を余儀なくされている。今後可能な限り経営改善に努める。

④企業債残高対事業規模比率について  
類似団体に比べて高い比率となっているが、事業概成を迎え数年が経過しており、今後しばらくは起債借入が無いことから、今後企業債残高は減っていく見込みである。

⑤経費回収率について  
類似団体に比べて低い水準となっている。接続率の影響や、料金設定の兼ね合いにより抜本的な改善は困難だが、今後可能な限り経営改善に努める。

⑥汚水処理原価について  
類似団体に比べて汚水処理原価が高い傾向にある。今後さらなる水洗化率向上を図り、少しでも汚水処理原価の低コスト化に努めたい。

⑦施設利用率について  
接続人口が少ないため、低い数値となっている。

⑧水洗化率について  
低い数値となっているが、水洗化率は年々向上している傾向にあるため、継続して取組を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始より間もないため、老朽化による現象は生じていないが、適期な管渠更新に努める。

## 全体総括

本村全体での過疎化が進んでおり、当該事業区域もその影響を大きく受けている。  
今後有収水量は、水洗化を促進することにより、増加する一方だが、行政人口の減少に比例して水洗化人口の減少、節水器具の普及に伴い大幅な増加は見込めない状況である。  
しかし、下水道は水環境を守るのに、今や不可欠な施設であることから、将来にわたり継続的に維持するために、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努め、経営の健全化を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。